

令和 6 年 6 月 19 日現在

機関番号：13601

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2019～2023

課題番号：19K07520

研究課題名(和文)全ゲノム配列を用いたトキソプラズマ分子疫学情報の解明と病原性関連遺伝子の同定

研究課題名(英文)Elucidation of molecular epidemiological information of *Toxoplasma gondii* using whole genome sequence and identification of pathogenicity-related genes

研究代表者

野呂瀬 一美 (Norose, Kazumi)

信州大学・医学部・特任准教授

研究者番号：30156244

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,300,000円

研究成果の概要(和文)：2005年から現在までに全国の医療機関からのトキソプラズマPCR検査依頼は554症例あり、その内、PCR陽性検体は57症例であった。残余DNAを用いて制限酵素断片長多型解析を行った結果、ToxoDBの3型が多く1型や5型も検出されたが、記載の無い型も複数存在した。得られた結果は論文作成中である。トキソプラズマPCR検査が陽性の4症例の検体をインターフェロンガンマノックアウトマウスの腹腔内に接種したが、長期生存し、死後の臓器からはトキソプラズマ遺伝子は確認できず、臨床由来株は樹立できなかった。当教室で保存していた深谷株に関しては、限界希釈法でクローンを作成し、99%の配列を決定した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

トキソプラズマの遺伝子多型の研究は、欧米・アジア・アフリカにおいて精力的に取り組まれており、研究報告が多数あるが、本邦におけるヒト臨床検体に関する報告は無い。本邦は島国であるのでトキソプラズマは独自の進化を遂げている可能性があり、欧米での研究成果をそのまま本邦の患者に適用することには無理がある。本研究は全国の医療機関からの臨床検体を用いているため、本研究の成果は、直ちに本邦の患者に還元できる。

研究成果の概要(英文)：From 2005 to the present, there have been 554 requests for *Toxoplasma* PCR tests from medical institutions across the country, of which 57 were PCR positive. As a result of restriction enzyme fragment length polymorphism analysis using the remaining DNA, ToxoDB type 3 was detected in large numbers, as well as types 1 and 5, but there were also multiple undescribed types. The obtained results are currently being written into a paper. Specimens from four cases with positive *Toxoplasma* PCR tests were injected intraperitoneally into interferon gamma knockout mice, but they survived for a long time, and *Toxoplasma* genes could not be confirmed in postmortem organs, making it impossible to establish a clinically derived strain. Regarding the Fukaya strain that we had preserved in our laboratory, we created a clone using the limiting dilution method and determined 99% of the sequence.

研究分野：寄生虫学

キーワード：トキソプラズマ症 分子疫学 全ゲノム配列 病原性関連遺伝子

様式 C - 19、F - 19 - 1 (共通)

1. 研究開始当初の背景

トキソプラズマはネコが終宿主でヒトは中間宿主となる細胞内寄生性原虫で、トキソプラズマに感染している肉等を加熱不十分で食したり、感染ネコの糞で汚染された土壌や砂を触ったりすることや、感染した母親から胎盤を介して感染する。世界人口の約三分の一が感染しているとされ、本邦では人口の10~30%が感染している。

トキソプラズマが引き起こすトキソプラズマ症は、先天性と後天性があり、先天性感染では妊婦がトキソプラズマに初感染すると、水頭症・脳内石灰化・網脈絡膜炎・心身発育遅延等重篤な症状を呈する先天性トキソプラズマ症児を出生することになるが、本邦では欧米で実施されているような妊娠時の母子感染検査 (TORCH 検査) が一般的でなく、先天性トキソプラズマ症が見逃されていることがある。トキソプラズマ症は、日和見感染症の一つで、AIDS 指標疾患でもある。そのため、本症は近年の HIV 患者や臓器移植・免疫抑制療法を受けている患者数の増加に伴い注目度が増し、免疫抑制状態での再活性化が臨床現場で大きな問題となっている。即ち、健常者がトキソプラズマに感染した場合、トキソプラズマは休眠型の嚢子 (シスト: 緩増虫体を蔵する) を形成することにより宿主の防御免疫から逃れ、根治されずに不顕性感染となる。しかし、宿主が免疫不全 (AIDS 患者や臓器移植患者等) に陥ると、緩増虫体は急増虫体へとステージ変換し (再活性化)、局所で臓器機能不全を引き起こし致死的となる。

免疫不全患者にトキソプラズマ症が発症すると (先天性感染の再発・後天性感染)、抗体産生が不十分のため抗体価は感染の指標となりえず、早期確定診断ができずに病態が劇症となり致死率が上昇することが問題視されている。

トキソプラズマは、欧米の報告を中心として異病原性の3つの主要な遺伝子型に分類され (Howe and Sibley, *J Infect Dis.* 1995;172:1561-6)、人獣共通感染症ではあるが、ヒトと動物では異なる遺伝子型が感染していることが多いとされている。島国である本邦では、トキソプラズマは欧米諸国とは異なる独自の進化史をもつと考えられるが、本邦のヒトに感染したトキソプラズマについての分子疫学情報 (遺伝子型、全ゲノム配列、病原性及び薬剤耐性の原因変異等) は未解明である。近年、海外でトキソプラズマの新型株や強毒株の報告が相次ぎ、本邦においても異なる遺伝子型・病原性・薬剤感受性を持つ新型株の存在を窺わせる。さらに、本来なら安全とされてきた、トキソプラズマの IgG avidity の高い妊婦から重篤な先天性トキソプラズマ症患児が出生したことを経験し (新谷 他, 第27回臨床寄生虫学会 金沢 2016)、複数の異遺伝子型でかつ高病原性のトキソプラズマが感染する可能性も無視できないと考えられる。

治療としては抗トキソプラズマ剤 (ピリメサミン・スルファジアジン・スピラマイシン・ST 合剤等) を投与するが、トキソプラズマは慢性期に移行するとシスト (嚢子: 緩増虫体を内蔵する) を形成するためトキソプラズマに対する根治化学療法は確立されていない。また、薬剤投与にも関わらず、先天性トキソプラズマ症の患児の出生や、低薬剤反応性の症例も散見され、トキソプラズマ臨床株の薬剤感受性が多様であることを示唆する。

従来、診断は polymerase chain reaction (PCR) 法を根拠になされてきた。しかし、その特異度こそ 100% と高いが感度は 50% (偽陰性 50%) ~70% と低いことが問題で、株間の配列の違いが予想される。当該研究室では臨床検体のトキソプラズマ症の診断に、以前は1虫体あたり1コピーある SAG1 遺伝子を標的とした定量的競合的 (QC) -PCR 法を実施してきたが、より高感度の診断法として、現在は 35 コピーある B1 遺伝子を標的とした nested PCR を採用している。しかし、配列情報不足による感度の低さは十分には解決されておらず、臨床医からの要望である治療効果判定の判断材料となる定量解析も難しい状況である。また、日和見感染症であるが故に PCR 法で陽性であったとしても主病変がトキソプラズマ感染によるか否かを判断するのが困難な例もあり、トキソプラズマの病原性の強弱の判定が求められる。そのため、トキソプラズマの様々な株のリピート配列や遺伝子多型などの全ゲノム情報に加え、その情報を患者病歴情報と照合した病原性関連遺伝子の同定が必須となり、病原性関連遺伝子変異を高感度かつ定量的に判別可能な PCR 法と次世代シーケンサー法とを組み合わせた新規診断法の確立が急務である。

2. 研究の目的

以上の研究背景より、本研究の目的は、1) 過去に当該研究室で施行した PCR 陽性検体に加え新規に得られるトキソプラズマ臨床検体の残余 DNA から本邦におけるヒトでトキソプラズマ症を引き起こすトキソプラズマ分子疫学情報を整備し、さらに臨床由来株を樹立し全ゲノム解読を行い、2) 分子疫学情報と病歴情報と照合することでトキソプラズマの病原性や薬剤耐性について解明することである。

3. 研究の方法

3-1 遺伝子型の同定

当該研究室(千葉大学・信州大学)で保存あるいは新規に得られた全国の医療機関からの臨床検体(末梢血・臍帯血・羊水・脳脊髄液・眼前房水・硝子体液・各種生検材料[脳・リンパ節等]・気管支肺胞洗浄液・母乳・尿等)のうち、PCR陽性臨床検体の残余DNAを用いて、現在世界標準として行われている制限酵素断片長多型(RFLP)解析によりトキソプラズマの遺伝子型を同定する。標的遺伝子は、SAG1、SAG2(5'+3', alternative)、SAG3、BTUB、GRA6、c22-8、c29-2、L358、PK1及びApicoの10遺伝子で、トキソプラズマのデータベース(ToxoDB)で公表されている189の遺伝子型に分類する。これらの分子疫学情報を、公表されている世界のトキソプラズマ遺伝子型の分子疫学情報と比較検討する。

3-2 臨床由来株の樹立

トキソプラズマ症疑い患者検体から、DNAを抽出し1虫体あたり35コピーあるB1遺伝子を標的としたnested PCR法による診断を行う。nested PCR陽性の場合、残余検体を免疫不全動物モデルであるインターフェロンガンマ(IFN- γ)ノックアウト(GKO)マウスの腹腔内に接種する。マウスの死亡直前に腹腔内浸出液を採取し遠心分離しトキソプラズマ感染細胞及びトキソプラズマ虫体を得る。さらにGKOマウス胎児皮膚細胞株に感染させることでトキソプラズマを増殖させ臨床由来株を樹立し、下記の方法により全ゲノム解析を行う。

3-3 全ゲノム解析

一分子シーケンスが可能なlong read(平均30 Kb read/DNA断片)できる次世代シーケンサー(PacBio RS II/Sequel)により全ゲノム解析を行う。まず、トキソプラズマゲノムを精製した後、これを8 Kbに断片化し、ゲノムサイズに対して50 coverage(本虫ゲノム60 Mb \times 50=3 Gb read、これは多くのゲノム決定において正確かつ全変異を決定できるとされるread量)のシーケンスを実施する。得られたread配列に対し、解析ソフト(FALCON)を用いてde novo assembleを実施し、既にデータベース(ToxoDB、<http://toxodb.org/toxo/>)に登録されている既知トキソプラズマゲノムとの比較によって、臨床分離株の変異や挿入・欠失配列を検出する。感度が低い検体に対してはコンセンサス配列でPCR増幅したのち、PacBio RS II/Sequelで解析する。

4. 研究成果

4-1 遺伝子型の同定

2005年から現在までに全国の医療機関からのトキソプラズマPCR検査依頼は554症例あり、その内、PCR陽性検体は57症例であった。残余DNAを用いてRFLP解析を行った結果、ToxoDBの3型が多く1型や5型も検出されたが、ToxoDBに記載の無い型も複数存在した。しかし、患者検体中の髄液や肺胞洗浄液、硝子体液等から得られたDNAは量が少なく、トキソプラズマPCR検査に全量～ほぼ全量を使用するため、残余DNAが殆ど残っておらずRFLP解析ができなかった。そのため、トキソプラズマPCR検査に用いたPCR産物からDNAを精製し、RFLP解析を試みている。また、1996年から2005年までの極当初のPCR診断はトキソプラズマ1虫体あたり1コピーしかないSAG1遺伝子を標的としていたため、検出感度が低かった。この極当初の臨床検体については1虫体あたり35コピーあるB1遺伝子を標的としたPCR検査で再検している。得られた結果は論文作成中である。

4-2 臨床由来株の樹立

トキソプラズマPCR検査が陽性だった4症例の検体をGKOマウスの腹腔内に接種したが、通常の死亡期間を超えて長期生存し、トキソプラズマに感染していないことが示唆された。死後に臓器を摘出しトキソプラズマのPCR検査を施行したが、陰性であり、トキソプラズマには感染していなかったことが判明し、臨床由来株は樹立できなかった。これは、患者検体のトキソプラズマ感染濃度が低かったためと推測された。

4-3 トキソプラズマの全ゲノム解析

上述したように、本研究に供与された臨床検体からは臨床由来株は樹立できなかった。しかし、当教室で保存していた深谷株に関しては、数十年に渡りマウスで系統維持してきたため、遺伝子変異がおきている可能性もあるので限界希釈法でクローンを作成し、次世代シーケンサー(PacBio RS II/Sequel)で全ゲノム解析を行い、99%の配列を決定した。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計96件（うち査読付論文 85件／うち国際共著 5件／うちオープンアクセス 55件）

1. 著者名 Makuuchi Y, Tanaka S, Koh H, Niki M, Norose K, Nakaya Y, Ido K, Sakatoku K, Kuno M, Harada N, Takakuwa T, Hirose A, Okamura H, Nishimoto M, Nakashima Y, Nakamae M, Hikosaka K, Kakeya H, Ohsawa M, Hino M, Nakamae H	4. 巻 29
2. 論文標題 Sinusoidal obstruction syndrome associated with disseminated toxoplasmosis involving the liver after allogeneic hematopoietic stem cell transplantation: A case report	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Journal of Infection and Chemotherapy	6. 最初と最後の頁 909 ~ 912
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jiac.2023.05.009	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nakano R, Nakano A, Nishisouzu R, Hikosaka K, Suzuki Y, Kamoshida G, Tansho-Nagakawa S, Endo S, Kasahara K, Ono Y, Yano H	4. 巻 16
2. 論文標題 Genetic relatedness of third-generation cephalosporin-resistant Escherichia coli among livestock, farmers, and patients in Japan	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 One Health	6. 最初と最後の頁 100524 ~ 100524
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.onehlt.2023.100524	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 Zhang S, Yazaki E, Sakamoto H, Yamamoto H, Mizushima N.	4. 巻 18
2. 論文標題 Evolutionary diversification of the autophagy-related ubiquitin-like conjugation systems.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Autophagy	6. 最初と最後の頁 2969-2984
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/15548627.2022.2059168	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Komatsuya K, Sakura T, Shiomi K, Omura S, Hikosaka K, Nozaki T, Kita K, Inaoka DK.	4. 巻 15
2. 論文標題 Siccanin is a dual-target inhibitor of Plasmodium falciparum mitochondrial complex II and complex III.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Pharmaceuticals	6. 最初と最後の頁 903
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/ph15070903	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Honjo Y, Fukumoto S, Sakamoto H, Hikosaka K.	4. 巻 121
2. 論文標題 New PCR primers targeting the cytochrome b gene reveal diversity of Leucocytozoon lineages in an individual host.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Parasitol Res.	6. 最初と最後の頁 3313-3320
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00436-022-07667-5	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Sakamoto H, Lin XX, Bai YD, Chen XF, Zhang ZZ, Honjo Y, Hikosaka K.	4. 巻 12
2. 論文標題 Development of a novel electroporation method for the oyster parasite Perkinsus marinus.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Sci Rep	6. 最初と最後の頁 19996
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-022-24548-0	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Wadayama T, Shimizu M, Kimura I, Baba K, Beck G, Nagano S, Morita R, Nakagawa H, Shirano M, Goto T, Norose K, Hikosaka K, Murayama S, Mochizuki H.	4. 巻 61
2. 論文標題 Erdheim-Chester disease involving the central nervous system with latent toxoplasmosis.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Int Med.	6. 最初と最後の頁 2661-2666
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2169/internalmedicine.8564-21	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 熊田大樹、猪爪隆史、栗田遼二、野呂瀬一美、彦坂健児、丸山治彦、松江弘之	4. 巻 64
2. 論文標題 感染源が不明であったドロレス顎口虫による皮膚爬行症の1例	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 皮膚科の臨床	6. 最初と最後の頁 1727-1730
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 本庄唯意、平崎能郎、糸山頌理、新倉 保、林 晁霞、坂本寛和、野呂瀬一美、生水真紀夫、彦坂健児.	4. 巻 33
2. 論文標題 既存薬剤に耐性を示す腔トリコモナスに対する7種の生薬の効果	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Clin Parasitol	6. 最初と最後の頁 55-58
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中川良太、栗原恵理佳、野呂瀬一美、彦坂健児、金澤正樹、寺井 勝	4. 巻 33
2. 論文標題 複数回の肛囲検査では虫卵が検出されず、虫体から診断に至った蟻虫症の一例	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Clin Parasitol	6. 最初と最後の頁 72-75
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 野呂瀬 一美	4. 巻 43
2. 論文標題 眼トキソプラズマ症 (トキソプラズマ性網脈絡膜炎)	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 病原微生物検出情報	6. 最初と最後の頁 59-60
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 彦坂 健児	4. 巻 43
2. 論文標題 トキソプラズマ症のPCRによる診断	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 病原微生物検出情報	6. 最初と最後の頁 60-61
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Li K, Feng X, Hikosaka K, Norose K.	4. 巻 62
2. 論文標題 Murine Model of Primary Acquired Ocular Toxoplasmosis: Fluorescein Angiography and Multiplex Immune Mediator Profiles in the Aqueous Humor.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Invest Ophthalmol Vis Sci.	6. 最初と最後の頁 9
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1167/iovs.62.3.9.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kitahara M, Hiroshima Y, Norose K, Hikosaka K, Kazumoto H, Uematsu N, Shishido T, Kaiume H, Sato K, Ueki T, Sumi M, Watanabe M, Kobayashi H.	4. 巻 23
2. 論文標題 Clinical characteristics and incidence of toxoplasmosis after autologous hematopoietic stem cell transplantation: A retrospective study and literature review.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Transpl Infect Dis.	6. 最初と最後の頁 e13726
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/tid.13726	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Omori K, Imoto N, Norose K, Maeda M, Hikosaka K, Kurahashi S.	4. 巻 100
2. 論文標題 Acute exacerbation of pulmonary toxoplasmosis during corticosteroid therapy for immune thrombocytopenia: A case report and literature review.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Medicine (Baltimore).	6. 最初と最後の頁 e28430
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1097/MD.00000000000028430	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Akuta T, Minegishi D, Kido N, Imaizumi K, Nakaoka S, Tachibana SI, Hikosaka K, Hori F, Masataka, Nakagawa, Sakuma C, Oouchi Y, Nakajima Y, Tanaka S, Omiya T, Morikaku K, Kawahara M, Tada Y, Tarui H, Ueda T, Kikuchi-Ueda T, Ono Y.	4. 巻 11
2. 論文標題 Development of a rapid scabies immunodiagnostic assay based on transcriptomic analysis of <i>Sarcoptes scabiei</i> var. <i>nyctereutis</i> .	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Sci Rep.	6. 最初と最後の頁 6455
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-021-85290-7	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Shinjyo N, Nakayama H, Li L, Ishimaru K, Hikosaka K, Suzuki N, Yoshida H, Norose K.	4. 巻 267
2. 論文標題 Hypericum perforatum extract and hyperforin inhibit the growth of neurotropic parasite Toxoplasma gondii and infection-induced inflammatory responses of glial cells in vitro.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 J Ethnopharmacol.	6. 最初と最後の頁 113525
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jep.2020.113525	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Shinjyo N, Hikosaka K, Kido Y, Yoshida H, Norose K.	4. 巻 11
2. 論文標題 Toxoplasma Infection Induces Sustained Up-Regulation of Complement Factor B and C5a Receptor in the Mouse Brain via Microglial Activation: Implication for the Alternative Complement Pathway Activation and Anaphylatoxin Signaling in Cerebral Toxoplasmosis.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Front Immunol.	6. 最初と最後の頁 603924
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fimmu.2020.603924	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Shinjyo N & Kita K.	4. 巻 15
2. 論文標題 Infection and Immunometabolism in the Central Nervous System: A Possible Mechanistic Link Between Metabolic Imbalance and Dementia.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Front Cell Neurosci.	6. 最初と最後の頁 765217
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fncel.2021.765217	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Shinjyo N, Kagaya W, Pekna M.	4. 巻 15
2. 論文標題 Interaction Between the Complement System and Infectious Agents - A Potential Mechanistic Link to Neurodegeneration and Dementia.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Front Cell Neurosci.	6. 最初と最後の頁 710390
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fncel.2021.710390.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Sahuri-Arisoylu Meliz, Mould Rhys R., Shinjyo Noriko, Bligh S. W. Annie, Nunn Alistair V. W., Guy Geoffrey W., Thomas Elizabeth Louise, Bell Jimmy D.	4. 巻 8
2. 論文標題 Acetate Induces Growth Arrest in Colon Cancer Cells Through Modulation of Mitochondrial Function	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Frontiers in Nutrition	6. 最初と最後の頁 588466
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fnut.2021.588466	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Sakamoto H, Kita K, Matsuzaki M	4. 巻 68
2. 論文標題 A Novel 2A-peptide-containing Plasmid to Generate Stable Perkinsus marinus Cells Expressing Organelle-targeted Geres.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 J Eukaryot Microbiol.	6. 最初と最後の頁 e12861
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/jeu.12861	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sakamoto H, Nakada-Tsukui K, Besteiro S.	4. 巻 10
2. 論文標題 The Autophagy Machinery in Human-Parasitic Protists; Diverse Functions for Universally Conserved Proteins.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Cells.	6. 最初と最後の頁 1258
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/cells10051258	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nakao SY, Miyake M, Hosoda Y, Nakano E, Mori Y, Takahashi A, Ooto S, Tamura H, Tabara Y, Yamashiro K, Matsuda F, Tsujikawa A; of the Nagahama Study Group.	4. 巻 128
2. 論文標題 Myopia Prevalence and Ocular Biometry Features in a General Japanese Population: The Nagahama Study.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Ophthalmology.	6. 最初と最後の頁 522-531
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.opthta.2020.08.023	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Mitsunaga T, Seki Y, Yoshioka M, Suzuki I, Akita K, Mashiko S, Uzura M, Takeda S, Sekine A, Mashiko K.	4. 巻 4
2. 論文標題 Comparison of the Diagnostic Value of Immunochromatography Kits in Corona Virus Disease 2019 Patients: A Prospective Pilot Study.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 JMA J.	6. 最初と最後の頁 32-40
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.31662/jmaj.2020-0084	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Igari H, Takayanagi S, Yahaba M, Tsuyuzaki M, Taniguchi T, Suzuki K.	4. 巻 27
2. 論文標題 Prevalence of positive IGRAs and innate immune system in HIV-infected individuals in Japan.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 J Infect Chemother.	6. 最初と最後の頁 592-597
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jiac.2020.11.012	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kageyama T, Ikeda K, Tanaka S, Taniguchi T, Igari H, Onouchi Y, Kaneda A, Matsushita K, Hanaoka H, Nakada TA, Ohtori S, Yoshino I, Matsubara H, Nakayama T, Yokote K, Nakajima H.	4. 巻 27
2. 論文標題 Antibody responses to BNT162b2 mRNA COVID-19 vaccine and their predictors among healthcare workers in a tertiary referral hospital in Japan.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Clin Microbiol Infect.	6. 最初と最後の頁 1861.e1-1861.e5
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.cmi.2021.07.042	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yamazaki S, Yamagishi K, Murata S, Yokoyama I, Yahaba M, Takayanagi S, Kawasaki Y, Taniguchi T, Ishii I, Igari H.	4. 巻 59
2. 論文標題 Antibiotics prescriptions for pneumonia analyzed by claim information in Japan.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Int J Clin Pharmacol Ther.	6. 最初と最後の頁 289-297
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5414/CP203780	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yahaba M, Yamagishi K, Yamazaki S, Takayanagi S, Kawasaki Y, Taniguchi T, Ishiwada N, Igari H.	4. 巻 27
2. 論文標題 Antibiotics for hospitalized children with community-acquired pneumonia in Japan: Analysis based on Japanese national database.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 J Infect Chemother.	6. 最初と最後の頁 461-465
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jiac.2020.10.022	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Tawara J, Uehara T, Sakao S, Igari H, Taniguchi T, Kasai H, Takayanagi S, Yahaba M, Shimada R, Ikusaka M.	4. 巻 60
2. 論文標題 Drug Fever Due to Favipiravir Administration for the Treatment of a COVID-19 Patient.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Intern Med.	6. 最初と最後の頁 1115-1117
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2169/internalmedicine.5813-20	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Shionoya Y, Taniguchi T, Kasai H, Sakuma N, Imai S, Shikano K, Takayanagi S, Yahaba M, Nakada TA, Igari H, Sakao S, Suzuki T.	4. 巻 16
2. 論文標題 Possibility of deterioration of respiratory status when steroids precede antiviral drugs in patients with COVID-19 pneumonia: A retrospective study.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 PLoS One.	6. 最初と最後の頁 e0256977
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0256977	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yamazaki S, Suzuki T, Sayama M, Nakada TA, Igari H, Ishii I.	4. 巻 27
2. 論文標題 Suspected cholestatic liver injury induced by favipiravir in a patient with COVID-19.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 J Infect Chemother.	6. 最初と最後の頁 390-392
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jiac.2020.12.021	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ishiguro N, Ito YM, Iwasaki S, Nagao M, Kawamura H, Kanai S, Nukui Y, Tokuda K, Miyara T, Igari H, Yamada K, Chikumi H, Sano C, Koike R, Yagi T, Murakami N; Japan Infection Prevention, Control Conference for National, Public University Hospitals.	4. 巻 21
2. 論文標題 Three-day regimen of oseltamivir for post-exposure prophylaxis of influenza in hospital wards: a study protocol for a prospective, multi-center, single-arm trial.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 BMC Infect Dis.	6. 最初と最後の頁 887
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12879-021-06602-w	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Namiki T, Takayama S, Arita R, Ishii T, Kainuma M, Makino T, Mimura M, Yoshino T, Nogami T, Arai M, Sato J, Tanaka K, Nakae H, Igari H, Ozawa Y, Shiko Y, Kawasaki Y, Nezu M, Ito T.	4. 巻 22
2. 論文標題 A structured summary of a study protocol for a multi-center, randomized controlled trial (RCT) of COVID-19 prevention with Kampo medicines (Integrative Management in Japan for Epidemic Disease by prophylactic study: IMJEDI P1 study).	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Trials.	6. 最初と最後の頁 23
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s13063-020-04939-2	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Shiojiri D, Mizushima D, Takano M, Watanabe K, Ando N, Uemura H, Yanagawa Y, Aoki T, Tanuma J, Tsukada K, Teruya K, Kikuchi Y, Gatanaga H, Oka S.	4. 巻 11
2. 論文標題 Anal human papillomavirus infection and its relationship with abnormal anal cytology among MSM with or without HIV infection in Japan.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Sci Rep.	6. 最初と最後の頁 19257
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-021-98720-3	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Tanaka T, Oshima K, Kawano K, Tashiro M, Tanaka A, Fujita A, Tsukamoto M, Yasuoka A, Teruya K, Izumikawa K.	4. 巻 16
2. 論文標題 Nationwide surveillance of AIDS-defining illnesses among HIV patients in Japan from 1995 to 2017.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 PLoS One.	6. 最初と最後の頁 e0256452
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0256452	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Okuhama A, Ishikane M, Hotta M, Sato L, Akiyama Y, Morioka S, Suzuki S, Tajima T, Yamamoto M, Teruya K, Izumi S, Ohmagari N.	4. 巻 27
2. 論文標題 Clinical and radiological findings of silent hypoxia among COVID-19 patients.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 J Infect Chemother.	6. 最初と最後の頁 1536-1538
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jiac.2021.07.002	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yamamoto K, Nagashima M, Yoshida I, Sadamasu K, Kurokawa M, Nagashima M, Kinoshita N, Maeda K, Takasaki J, Teruya K, Ohmagari N.	4. 巻 27
2. 論文標題 Does the SARS-CoV-2 rapid antigen test result correlate with the viral culture result?	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 J Infect Chemother.	6. 最初と最後の頁 1273-1275
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jiac.2021.05.006	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Akashi S, Suzukawa M, Takeda K, Asari I, Kawashima M, Ohshima N, Inoue E, Sato R, Shimada M, Suzuki J, Yamane A, Tamura A, Ohta K, Tohma S, Teruya K, Nagai H.	4. 巻 27
2. 論文標題 IL-1RA in the supernatant of QuantiFERON-TB Gold In-Tube and QuantiFERON-TB Gold Plus is useful for discriminating active tuberculosis from latent infection.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 J Infect Chemother.	6. 最初と最後の頁 617-624
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jiac.2020.11.023	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kuwahara M, Yurugi S, Ando J, Takeuchi M, Miyata R, Harada M, Masuda Y, Kanagawa S, Yoneda T, Fukumori T, Ogawa T, Nakamura-Uchiyama F, Kasahara K.	4. 巻 85
2. 論文標題 A case of cryptococcal necrotizing fasciitis and immune reconstitution inflammatory syndrome in a renal transplantation recipient.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Int J Surg Case Rep.	6. 最初と最後の頁 106199
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ijscr.2021.106199	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Imai K, Matsuoka M, Tabata S, Kitagawa Y, Nagura-Ikeda M, Kubota K, Fukada A, Takada T, Sato M, Noguchi S, Takeuchi S, Arakawa N, Miyoshi K, Saito Y, Maeda T.	4. 巻 111
2. 論文標題 Cross-reactive humoral immune responses against seasonal human coronaviruses in COVID-19 patients with different disease severity.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Int J Infect Dis	6. 最初と最後の頁 68-75
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ijid.2021.08.026	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Matsuzaki N, Orihara Y, Kodana M, Kitagawa Y, Matsuoka M, Kawamura R, Takeuchi S, Imai K, Tarumoto N, Maesaki S, Maeda T.	4. 巻 93
2. 論文標題 Evaluation of a chemiluminescent enzyme immunoassay-based high-throughput SARS-CoV-2 antigen assay for the diagnosis of COVID-19: The VITROS [®] SARS-CoV-2 Antigen Test.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 J Med Virol	6. 最初と最後の頁 6778-6781
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/jmv.27153	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kodana M, Kitagawa Y, Takahashi R, Matsuoka M, Fushimi N, Sakai J, Ishibashi N, Imai K, Takeuchi S, Tarumoto N, Maesaki S, Ikezono T, Maeda T.	4. 巻 83
2. 論文標題 Concerns about the clinical usefulness of saliva specimens 1 for the diagnosis of COVID-19.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 J Infect	6. 最初と最後の頁 119-145
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jinf.2021.04.007	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nagura-Ikeda M, Imai K, Kubota K, Noguchi S, Kitagawa Y, Matsuoka M, Tabata S, Miyoshi K, Ito T, Tamura K, Maeda T.	4. 巻 70
2. 論文標題 Clinical characteristics and antibody response to SARS-CoV-2 spike 1 protein using VITROS Anti-SARS-CoV-2 antibody tests in COVID-19 patients in Japan.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 J Med Microbiol	6. 最初と最後の頁 1291
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1099/jmm.0.001291	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kubota K, Kitagawa Y, Matsuoka M, Imai K, Orihara Y, Kawamura R, Sakai J, Ishibashi N, Tarumoto N, Takeuchi S, Maesaki S, Maeda T	4. 巻 100
2. 論文標題 Clinical evaluation of the antibody response in patients with COVID-19 using automated high-throughput immunoassays.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Diag Microbiol Infect Dis	6. 最初と最後の頁 115370
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.diagmicrobio.2021.115370	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Imai K, Kitagawa Y, Tabata S, Kubota K, Nagura-Ikeda M, Matsuoka M, Miyoshi K, Sakai J, Ishibashi N, Tarumoto N, Takeuchi S, Ito T, Maesaki S, Tamura K, Maeda T.	4. 巻 93
2. 論文標題 Antibody response patterns in COVID-19 patients with different levels of disease severity-Japan.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 J Med Virol	6. 最初と最後の頁 3211-3218
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/jmv.26899	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 上田菜月, 多田克彦, 野呂瀬一美, 中村 信, 熊澤一真	4. 巻 57
2. 論文標題 検査キットにより検査値の差が大きかったトキソプラズマIgM抗体持続陽性の妊婦症例	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 日本周産期・新生児医学会雑誌	6. 最初と最後の頁 511-515
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.34456/jjspnm.57.3_511	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Zhang S, Yazaki E, Sakamoto H, Yamamoto H, Mizushima N.	4. 巻 -
2. 論文標題 Evolutionary diversification of the autophagy-related ubiquitin-like conjugation systems.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Autophagy.	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/15548627.2022.2059168	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Wadayama T, Shimizu M, Kimura I, Baba K, Beck G, Nagano S, Morita R, Nakagawa H, Shirano M, Goto T, Norose K, Hikosaka K, Murayama S, Mochizuki H.	4. 巻 -
2. 論文標題 Erdheim-Chester Disease Involving the Central Nervous System with Latent Toxoplasmosis.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Intern Med.	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2169/internalmedicine.8564-21	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Too LK, Hunt NH, Shinjyo N.	4. 巻 16
2. 論文標題 Editorial: The Relationships Between Infectious Agents and Dementia.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Front Cell Neurosci.	6. 最初と最後の頁 831374
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fncel.2022.831374	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Tsuzuki S, Hayakawa K, Doi Y, Shinozaki T, Uemura Y, Matsunaga N, Terada M, Suzuki S, Asai Y, Yamada G, Saito S, Shibata T, Kondo M, Izumi K, Hojo M, Mizoue T, Yokota K, Nakamura-Uchiyama F, Saito F, Sugiura W, Ohmagari N.	4. 巻 -
2. 論文標題 Effectiveness of Favipiravir on Nonsevere, Early-Stage COVID-19 in Japan: A Large Observational Study Using the COVID-19 Registry Japan.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Infect Dis Ther.	6. 最初と最後の頁 1-13
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s40121-022-00617-9	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Tsuzuki S, Hayakawa K, Uemura Y, Shinozaki T, Matsunaga N, Terada M, Suzuki S, Asai Y, Kitajima K, Saito S, Yamada G, Shibata T, Kondo M, Izumi K, Hojo M, Mizoue T, Yokota K, Nakamura-Uchiyama F, Saito F, Sugiura W, Ohmagari N.	4. 巻 118
2. 論文標題 Effectiveness of remdesivir in hospitalized nonsevere patients with COVID-19 in Japan: A large observational study using the COVID-19 Registry Japan.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Int J Infect Dis.	6. 最初と最後の頁 119-125
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ijid.2022.02.039	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Matsunaga N, Hayakawa K, Asai Y, Tsuzuki S, Terada M, Suzuki S, Ohtsu H, Kitajima K, Toyoda A, Suzuki K, Suzuki M, Saito S, Uemura Y, Shibata T, Kondo M, Nakamura-Uchiyama F, Yokota K, Saito F, Izumi K, Sugiura W, Ohmagari N.	4. 巻 22
2. 論文標題 Clinical characteristics of the first three waves of hospitalised patients with COVID-19 in Japan prior to the widespread use of vaccination: a nationwide observational study.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Lancet Reg Health West Pac.	6. 最初と最後の頁 100421
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.lanwpc.2022.100421	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kotaki R, Adachi Y, Moriyama S, Onodera T, Fukushi S, Nagakura T, Tonouchi K, Terahara K, Sun L, Takano T, Nishiyama A, Shinkai M, Oba K, Nakamura-Uchiyama F, Shimizu H, Suzuki T, Matsumura T, Isogawa M, Takahashi Y.	4. 巻 -
2. 論文標題 SARS-CoV-2 Omicron-neutralizing memory B-cells are elicited by two doses of BNT162b2 mRNA vaccine.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Sci Immunol.	6. 最初と最後の頁 eabn8590
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1126/sciimmunol.abn8590	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sakamoto N, Ota M, Takeda T, Kosaka A, Washino T, Iwabuchi S, Beppu M, Nishiduka I, Matsui T, Suzuki M, Nakamura-Uchiyama F.	4. 巻 13
2. 論文標題 Nosocomial outbreak of coronavirus disease in two general wards during the initial wave of the pandemic in 2020, Tokyo, Japan.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 WPSAR	6. 最初と最後の頁 1-5
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5365/wpsar.2022.13.1.906	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Imoto S, Suzukawa M, Takeda K, Asari I, Watanabe S, Tohma S, Nagase T, Ohta K, Teruya K, Nagai H.	4. 巻 153
2. 論文標題 Evaluation of cytokine levels in response to mitogen among HIV-1-infected blood cells and their relationships to the number of T cells.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Cytokine.	6. 最初と最後の頁 155840
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.cyto.2022.155840	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Wakimoto Y, Otsuka N, Yanagawa Y, Koide K, Kamachi K, Shibayama K, Teruya K, Kikuchi Y, Oka S.	4. 巻 9
2. 論文標題 The First Reported Case of Bordetella pertussis Bacteremia in a Patient With Human Immunodeficiency Virus Infection.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Open Forum Infect Dis.	6. 最初と最後の頁 ofac020
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/ofid/ofac020	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Okuhama A, Hotta M, Ishikane M, Kawashima A, Miyazato Y, Terada M, Yamada G, Kanda K, Inada M, Sato L, Sato M, Akiyama Y, Suzuki T, Nakamoto T, Nomoto H, Ide S, Nakamura K, Saito S, Kinoshita N, Yamamoto K, Morioka S, Ujiie M, Hayakawa K, Kustuna S, Shida Y, Tajima T, Teruya K, Funato Y, Yamamoto M, Izumi S, et al.	4. 巻 28
2. 論文標題 Fatty liver on computed tomography scan on admission is a risk factor for severe coronavirus disease.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 J Infect Chemother.	6. 最初と最後の頁 217-223
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jiac.2021.10.013	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Katsura M, Okuhama A, Koizumi Y, Ando N, Yanagawa Y, Mizushima D, Aoki T, Tsukada K, Teruya K, Kikuchi Y, Oka S, Watanabe K.	4. 巻 61
2. 論文標題 Progressive Cytopenia Developing during Treatment of Cryptococcosis in a Patient with HIV Infection and Bone Marrow Cryptococcal Infection.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Intern Med.	6. 最初と最後の頁 257-261
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2169/internalmedicine.7282-21	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yoshida T, Uchihara S, Goya H, Arakaki M, Kuda M.	4. 巻 64
2. 論文標題 A giant omphalocele neonate supported by extra-corporeal membrane oxygenation.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Pediatr Int.	6. 最初と最後の頁 e14682
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/ped.14682	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 熊田 大樹、猪爪 隆史、栗田 遼二、野呂瀬 一美、彦坂 健児、丸山 治彦、松江 弘之	4. 巻 -
2. 論文標題 感染源が不明であったドロレス顎口虫による皮膚爬行症の1例	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 皮膚科の臨床	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 新庄記子, 岡部泰賢	4. 巻 29
2. 論文標題 組織マクロファージ	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 炎症と免疫	6. 最初と最後の頁 369-373
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 常岡 有希子, 長谷川 稜, 吉田 (田宮) 彩, 佐原 利典, 横田 和久, 野原 千洋子, 花岡 希, 藤本 嗣人, 中村 (内山) ふくみ.	4. 巻 11
2. 論文標題 今月の症例 パレコウイルスA3型感染による成人の流行性筋痛症の1例.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 日本内科学会雑誌	6. 最初と最後の頁 1656-1661
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中村 (内山) ふくみ	4. 巻 58
2. 論文標題 日常診療の中で遭遇する寄生虫感染症へのアプローチ.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Medicina	6. 最初と最後の頁 658-662
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中村(内山)ふくみ	4. 巻 8
2. 論文標題 リケッチア症・重症熱性血小板減少症候群・寄生虫症.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Gノート	6. 最初と最後の頁 548-557
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中村(内山)ふくみ	4. 巻 278
2. 論文標題 この病気、何でしょう?知っておくべき感染症 腸アニサキス症(腸閉塞を診たら食歴も尋ねよう).	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 医学のあゆみ	6. 最初と最後の頁 235-238
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中村(内山)ふくみ	4. 巻 278
2. 論文標題 この病気、何でしょう?知っておくべき感染症 肝蛭症(肝占拠性病変の鑑別診断のひとつに考えよう).	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 医学のあゆみ	6. 最初と最後の頁 784-787
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中村(内山)ふくみ	4. 巻 45
2. 論文標題 輸入感染症、新興・再興感染症の情報収集やコンサルテーション	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 救急医学	6. 最初と最後の頁 969-974
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中村(内山)ふくみ	4. 巻 128
2. 論文標題 日常診療において の場面では寄生虫検査が必要である.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 内科	6. 最初と最後の頁 522-525
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中村(内山)ふくみ	4. 巻 66
2. 論文標題 クドア, サルコシステリスによる食中毒.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 臨床検査	6. 最初と最後の頁 98-103
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中村(内山)ふくみ	4. 巻 49
2. 論文標題 寄生虫性呼吸器感染症.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 臨床と微生物	6. 最初と最後の頁 75-80
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 吉田朝秀	4. 巻 80
2. 論文標題 沖縄県周産期情報ネットワークの働き ~OPeNによる搬送症例の検討~	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 小児保健研究	6. 最初と最後の頁 741-745
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ikuno H, Ishikawa T, Norose K	4. 巻 103
2. 論文標題 Status of Strongyloidiasis in Japan, 2000-2017	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Am J Trop Med Hyg	6. 最初と最後の頁 727-734
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.4269/ajtmh.19-0969	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Mayumi A, Yamashita T, Matsuda I, Hikosaka K, Fujino S, Norose K, Kato Y, Hirota S, Nakajima T, Ogawa H, Ikegame K.	4. 巻 S0041-1345
2. 論文標題 Toxoplasmic Encephalitis Followed by Primary EBV-Associated Post-Transplant Lymphoproliferative Disorder of the Central Nervous System in a Patient Undergoing Allogeneic Hematopoietic Stem Cell Transplant: A Case Report.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Transplant Proc.	6. 最初と最後の頁 32664-6.
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.transproceed.2020.08.002.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Shinjyo N, Nakayama H, Li L, Ishimaru K, Hikosaka K, Suzuki N, Yoshida H, Norose K.	4. 巻 267
2. 論文標題 Hypericum perforatum extract and hyperforin inhibit the growth of neurotropic parasite Toxoplasma gondii and infection-induced inflammatory responses of glial cells in vitro.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 J Ethnopharmacol.	6. 最初と最後の頁 113525
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jep.2020.113525.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Shinjyo N, Hikosaka K, Kido Y, Yoshida H, Norose K.	4. 巻 11
2. 論文標題 Toxoplasma Infection Induces Sustained Up-Regulation of Complement Factor B and C5a Receptor in the Mouse Brain via Microglial Activation: Implication for the Alternative Complement Pathway Activation and Anaphylatoxin Signaling in Cerebral Toxoplasmosis	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Front Immunol.	6. 最初と最後の頁 603924
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fimmu.2020.603924.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Li K, Feng X, Hikosaka K, Norose K.	4. 巻 62
2. 論文標題 Murine Model of Primary Acquired Ocular Toxoplasmosis: Fluorescein Angiography and Multiplex Immune Mediator Profiles in the Aqueous Humor.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Invest Ophthalmol Vis Sci.	6. 最初と最後の頁 9
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1167/iovs.62.3.9.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Akuta T, Minegishi D, Kido N, Imaizumi K, Nakaoka S, Tachibana S, Hikosaka K, Hori F, Masataka N, Sakuma C, Oouchi Y, Nakajima Yu, Tanaka S, Omiya T, Morikaku K, Kawahara M, Tada Y, Tarui H, Ueda T, Kikuchi-Ueda T, Ono Y.	4. 巻 11
2. 論文標題 Development of a rapid scabies immunodiagnostic assay based on transcriptomic analysis of <i>Sarcoptes scabiei</i> var. <i>nyctereutis</i>	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-021-85290-7	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nakao SY, Miyake M, Hosoda Y, Nakano E, Mori Y, Takahashi A, Ooto S, Tamura H, Tabara Y, Yamashiro K, Matsuda F, Tsujikawa A; of the Nagahama Study Group.	4. 巻 128
2. 論文標題 Myopia Prevalence and Ocular Biometry Features in a General Japanese Population: The Nagahama Study.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Ophthalmology	6. 最初と最後の頁 522-531
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.opthta.2020.08.023.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Imatoh T, Ushiki A, Ota M, Ito M, Sekine A, Yamashita T, Mashimo Y, Nakamura R, Saito K, Saito Y, Hanaoka M.	4. 巻 20
2. 論文標題 Association of HLA-DRB1*04:05 allele with drug-induced interstitial lung disease in Japanese population.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Pharmacogenomics J.	6. 最初と最後の頁 823-830
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41397-020-0172-3.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Hayase Y, Amano S, Hashizume K, Tominaga T, Miyamoto H, Kanno Y, Ueno-Inoue Y, Inoue T, Yamada M, Ogata S, Balan S, Hayashi K, Miura Y, Tokudome K, Ohno Y, Nishijo T, Momiyama T, Yanagawa Y, Takizawa A, Mashimo T, Serikawa T, Sekine A, Nakagawa E, Takeshita E, Yoshikawa T, Waga C, Inoue K, Goto YI, Nabeshima Y, et al.	4. 巻 8
2. 論文標題 Down syndrome cell adhesion molecule like-1 (DSCAML1) links the GABA system and seizure susceptibility.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Acta Neuropathol Commun.	6. 最初と最後の頁 206
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s40478-020-01082-6.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Takahashi N, Takahashi Y, Tabara Y, Kawaguchi T, Kuriyama A, Ueshima K, Kosugi S, Sekine A, Yamada R, Matsuda F, Nakayama T; Nagahama Study Group.	4. 巻 14
2. 論文標題 Descriptive epidemiology of high frequency component based on heart rate variability from 10-second ECG data and daily physical activity among community adult residents: the Nagahama Study.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Biosci Trends.	6. 最初と最後の頁 241-247
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5582/bst.2020.03146.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Shinjyo N, Parkinson J, Bell J, Katsuno T, Bligh A	4. 巻 18
2. 論文標題 Berberine for Prevention of Dementia Associated With Diabetes and Its Comorbidities: A Systematic Review	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 J Integr Med	6. 最初と最後の頁 125-151
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.joim.2020.01.004.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Yoshida M, Hoshioka Y, Makino Y, Kojima M, Horikoshi T, Mukai H, Hikosaka K, Norose K, Iwase H.	4. 巻 20
2. 論文標題 Pseudo- 'Pneumatosis intestinalis' sign: A case of parasite uniquely depicted on postmortem CT.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Forensic Imaging	6. 最初と最後の頁 1-5
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Shinjyo N, Nakayama H, Ishimaru K, Hikosaka K, Mi-Ichi F, Norose K, Yoshida H.	4. 巻 74
2. 論文標題 Hypericum erectum alcoholic extract inhibits Toxoplasma growth and Entamoeba encystation: an exploratory study on the anti-protozoan potential.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 J Nat Med	6. 最初と最後の頁 294-305
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s11418-019-01369-6.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Miyata N, Yoshimura Y, Hikosaka K, Norose K, Tachikawa N.	4. 巻 26
2. 論文標題 Desensitization to trimethoprim-sulfamethoxazole in a toxoplasmic encephalitis patient who was intolerant to conventional treatments.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 J Infect Chemother	6. 最初と最後の頁 289-293
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jiac.2019.10.008	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 太田 貴徳, 今永 博, 奥 誠道, 楠元 大岳, 杉尾 康浩, 田宮 貞史, 久保 安孝, 小川 亮介, 彦坂 健児, 野呂瀬 一美, 大野 裕樹	4. 巻 60
2. 論文標題 臍帯血移植後に多発性脳出血を来したトキソプラズマ関連中枢神経系血管炎	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 臨床血液	6. 最初と最後の頁 118-123
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11406/rinketsu.60.118	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ueno H, Norose K, Kamimura T, Mihara K, Yamasaki F, Hikosaka K, J Amatya V, Takeshima Y, Kurisu K, Maruyama H.	4. 巻 58
2. 論文標題 Metastatic Malignant Lymphoma Mimicking Cerebral Toxoplasmosis with the "Target Sign".	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Intern Med	6. 最初と最後の頁 1157-1162
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2169/internalmedicine	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ueda T, Tarui H, Kido N, Imaizumi K, Hikosaka K, Abe T, Minegishi D, Tada Y, Nakagawa M, Tanaka S, Omiya T, Morikaku K, Kawahara M, Kikuchi-Ueda T, Akuta T, Ono Y	4. 巻 111
2. 論文標題 The complete mitochondrial genome of <i>Sarcoptes scabiei</i> var. <i>nyctereutis</i> from the Japanese raccoon dog: Prediction and detection of two transfer RNAs (tRNA-A and tRNA-Y).	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Genomics	6. 最初と最後の頁 1183-1191
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ygeno.2018.09.002	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ajibaye O, Osuntoki AA, Balogun EO, Olukosi YA, Iwalokun BA, Oyebola KM, Hikosaka K, Watanabe YI, Ebiroma GU, Kita K, Amambua-Ngwa A.	4. 巻 19
2. 論文標題 Genetic polymorphisms in malaria vaccine candidate <i>Plasmodium falciparum</i> reticulocyte-binding protein homologue-5 among populations in Lagos, Nigeria.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Malar J.	6. 最初と最後の頁 6
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12936-019-3096-0.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Yamashita T, Takeda H, Takai A, Arasawa S, Nakamura F, Mashimo Y, Hozan M, Ohtsuru S, Seno H, Ueda Y, Sekine A	4. 巻 10
2. 論文標題 Single-molecular real-time deep sequencing reveals the dynamics of multidrug resistant haplotypes and structural variations in the hepatitis C virus genome.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Sci. Rep,	6. 最初と最後の頁 2651
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-020-59397-2	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Mitsunaga T, Hasegawa I, Uzura M, Okuno K, Sekine A, Takeda S.	4. 巻 4
2. 論文標題 Age-Associated Changes in Value of the National Early Warning Score with the Japanese-Modified Glasgow Prognostic Score (NEWS-JmGPS) for Predicting In-Hospital Mortality of Elderly Patients Visiting the Emergency Department.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Arch Clinical Biomed Res	6. 最初と最後の頁 001-016
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nakamura R, Ozeki T, Hirayama N, Sekine A, Yamashita T, Mashimo Y, Mizukawa Y, Shiohara T, Watanabe H, Sueki H, Ogawa K, Asada H, Kaniwa N, Tsukagoshi E, Matsunaga K, Niihara H, Yamaguchi Y, Aihara M, Mushiroda T, Saito Y, Morita E	4. 巻 -
2. 論文標題 Association of HLA-A*11:01 with sulfonamide-related severe cutaneous adverse reactions in Japanese patients.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 J Invest Dermatol	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jid.2019.12.025	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Maekawa K, Ri M, Nakajima M, Sekine A, Ueda R, Tohkin M, Miyata N, Saito Y, Iida S.	4. 巻 110
2. 論文標題 Serum lipidomics for exploring biomarkers of bortezomib therapy in patients with multiple myeloma.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Cancer Sci	6. 最初と最後の頁 3267-3274
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/cas.14178	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Takeda H, Yamashita T, Ueda Y, Sekine A	4. 巻 25
2. 論文標題 Exploring the hepatitis C virus genome using single molecule real-time sequencing.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 World J Gastroenterol	6. 最初と最後の頁 4661-4672
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3748/wjg.v25.i32.4661	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Mitsunaga T, Hasegawa I, Uzura M, Okuno K, Otani K, Ohtaki Y, Sekine A, Takeda S.	4. 巻 7
2. 論文標題 Comparison of the National Early Warning Score (NEWS) and the Modified Early Warning Score (MEWS) for predicting admission and in-hospital mortality in elderly patients in the pre-hospital setting and in the emergency department.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 PeerJ	6. 最初と最後の頁 e6947
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.7717/peerj.6947	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計35件（うち招待講演 0件 / うち国際学会 2件）

1. 発表者名 佐野賢太郎, 佐々木悠介, 落合健太, 塩田恵, 廣瀬翔子, 白戸由理, 馳亮太, 長瀬尚志, 高本雅哉, 野呂瀬一美, 小俣卓, 高梨潤一
2. 発表標題 先天性トキソプラズマ症によるWest症候群の1例
3. 学会等名 第80回日本小児神経学会関東地方会
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 和田山智哉, 清水幹人, 木村一皓, 馬場孝輔, 別宮豪一, 長野清一, 野呂瀬一美, 彦坂健児, 村山繁雄, 望月秀樹
2. 発表標題 潜在性トキソプラズマ症を合併した中枢神経浸潤Erdheim-Chester病の1例
3. 学会等名 第64回神経病理学会総会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Ziyue Zhang, Hirokazu Sakamoto, Kazumi Norose, Kenji Hikosaka.
2. 発表標題 Oroxylin A, a compound extracted from Chinese medicinal herbs, suppresses Toxoplasma gondii proliferation
3. 学会等名 第91回日本寄生虫学会大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 中川良太, 栗原恵理佳, 野呂瀬一美, 彦坂健児, 金澤正樹, 寺井勝
2. 発表標題 複数回の肛門検査では虫卵が検出されず, 虫体から診断に至った蟯虫症の一例
3. 学会等名 第33回日本臨床寄生虫学会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名	Yosuke Makuuchi, Sayaka Tanaka, Hideo Koh, Makoto Niki, Kazumi Norose, Yosuke Nakaya, Masatomo Kuno, Naonori Harada, Teruhito Takakuwa, Hiroshi Okamura, Asao Hirose, Mika Nakamae, Mitsutaka Nishimoto, Yasuhiro Nakashima, Kenji Hikosaka, Hiroshi Kakeya, Masahiko Ohsawa, Masayuki Hino, Hirohisa Nakamae
2. 発表標題	A case of catastrophic disseminated toxoplasmosis mimicking late-onset VOD/SOS after unrelated PBSCT
3. 学会等名	第84回日本血液学会学術集会
4. 発表年	2022年

1. 発表者名	Ziyue Z Zhang, Hirokazu Sakamoto, Kazumi Norose, Kenji Hikosaka.
2. 発表標題	Growth of <i>Toxoplasma gondii</i> is inhibited by oroxylin A, a compound derived from traditional Chinese medicinal plants.
3. 学会等名	第28回分子寄生虫学ワークショップ
4. 発表年	2022年

1. 発表者名	カウエ サイモン、バログン エマニュエル、野呂瀬 一美、アデク マイケル、彦坂 健児
2. 発表標題	ナイジェリアの家畜より分離した捻転胃虫の遺伝的多様性解析
3. 学会等名	第90回日本寄生虫学会大会 第32回日本臨床寄生虫学会大会 合同大会
4. 発表年	2021年

1. 発表者名	池亀和博、眞弓あずさ、野呂瀬一美、加藤康幸
2. 発表標題	トキソプラズマ脳炎の治療中に中枢性EBV関連リンパ増殖性疾患を発症した一例
3. 学会等名	第95回日本感染症学会学術講演会
4. 発表年	2021年

1. 発表者名 岩田紫乃、原田介斗、鬼塚真仁、白岩佐和子、原隆二郎、青山泰之、豊崎誠子、町田真一郎、山元佳、彦坂健児、野呂瀬一美、丸山治彦、忍那賢志、氏家無限、小川吉明、川田浩志、安藤潔
2. 発表標題 早期診断・治療が成功した同種移植後トキソプラズマ脳炎の一例
3. 学会等名 第83回日本血液学会学術集会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 猪狩英俊
2. 発表標題 COVID-19流行下の結核診療 潜在性結核感染症の診断、IGRAの使い方と解釈
3. 学会等名 第179回日本結核・非結核性抗酸菌症学会関東支部学会・第243回日本呼吸器学会 関東地方会合同学会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 猪狩英俊
2. 発表標題 結核の日本国内からの排除に向けた 潜在性結核感染症の対策
3. 学会等名 第95回日本感染症学会学術講演会・第69回日本科学薬法学会総会 合同学会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Hidetoshi Igari
2. 発表標題 Pharmaceutical Sciences in a Pandemic World
3. 学会等名 Canadian Society for Pharmaceutical Sciences (CSPS), Canadian Chapter of Controlled Release Society (CC-CRS), Pharmaceutical Society of Japan. ジョイントシンポジウム(国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 猪狩英俊
2. 発表標題 「IGRAとLTBI治療」 医療従事者のIGRA検査の意義
3. 学会等名 第96回 日本結核・非結核性抗酸菌症学会総会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 猪狩英俊
2. 発表標題 潜在性結核感染症の診断と治療
3. 学会等名 第70回日本感染症学会東日本地方会学術集会・第68回日本化学療法学会東日本支部総会 合同学会 ハイブリッド
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 中村(内山)ふくみ
2. 発表標題 疥癬の感染対策
3. 学会等名 第357回ICD講習会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 中村(内山)ふくみ
2. 発表標題 これからの輸入感染症診療
3. 学会等名 第95回日本感染症学会, 第69回日本化学療法学会合同学会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 中村(内山)ふくみ
2. 発表標題 医療機関における新型コロナウイルス感染症の感染対策
3. 学会等名 第360回ICD講習会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 中村(内山)ふくみ
2. 発表標題 紅斑熱群リケッチア症の臨床
3. 学会等名 第32回日本臨床微生物学会総会, シンポジウム7
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 中村(内山)ふくみ
2. 発表標題 レプトスピラ症
3. 学会等名 第32回日本臨床微生物学会総会, シンポジウム9「動物由来感染症」
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 三池 慧, 阪本 直也, 鷺野 巧弥, 小坂 篤志, 岩淵 千太郎, 中村 ふくみ
2. 発表標題 感染症診療の基本を認識させられる再発性パラチフスの1例
3. 学会等名 第667回日本内科学会関東地方会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 小林 寛之, 根岸 久実子, 鴻巣 晶子, 西原 弘人, 小林 恵, 邊見 詩帆, 澗上 裕子, 中村 ふくみ
2. 発表標題 Neisseria meningitidisによる肺炎を併発したCOVID-19患者の一例
3. 学会等名 第33回日本臨床微生物学会総会・学術集会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 照屋勝治
2. 発表標題 60歳代以降の合併症、シンポジウム「各年代において注目したい合併症」
3. 学会等名 第35回日本エイズ学会学術集会・総会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 照屋勝治
2. 発表標題 患者の高齢化・合併症を考慮したARTレジメンの考え方、共催シンポジウム
3. 学会等名 第35回日本エイズ学会学術集会・総会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 照屋勝治
2. 発表標題 HIV患者で見られる真菌症、基調講演「患者背景から考える真菌症」。
3. 学会等名 第65回日本医真菌学会総会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 照屋勝治
2. 発表標題 新型コロナウイルス感染症のup-to-date
3. 学会等名 第27回日本臨床エンブリオロジスト学会学術大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 吉田朝秀
2. 発表標題 沖縄県周産期情報ネットワークの働き～OPeNによる搬送症例の検討～
3. 学会等名 第68回日本小児保健協会学術集会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 東映月, 大城一輝, 吉田朝秀, 呉屋英樹, 知念安紹, 中西浩一, 新垣真弓, 崎山秀樹.
2. 発表標題 MRIによる新生児脳障害と脳発達の総合的評価(城所スコア)の有用性について～在胎22-25週群と32-33週群の比較による検討～
3. 学会等名 第100回沖縄小児科学会.
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 大城一輝, 東映月, 吉田朝秀, 呉屋英樹, 知念安紹, 中西浩一, 新垣真弓, 崎山秀樹.
2. 発表標題 MRIによる新生児脳障害と脳発達の総合的評価(城所スコア)の有用性について～超早産児の脳サイズと重症度評価に影響を与える臨床的指標の検討～
3. 学会等名 第100回沖縄小児科学会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 小谷美華子, 津嘉山真弓, 呉屋英樹, 吉田朝秀, 黒川慎吾, 知念安紹, 中西浩一
2. 発表標題 Non-Invasive Prenatal genetic Testing (NIPT)による性別判定に母体の生体肝移植が影響したと考えられた1例.
3. 学会等名 第101回沖縄小児科学会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 島田浩平, 渡慶次綾香, 中西浩一, 津嘉山真弓, 呉屋英樹, 吉田朝秀
2. 発表標題 腹部コンパートメント症候群管理のため, サイロ形成術を施行した先天性横隔膜ヘルニア2症例.
3. 学会等名 第102回沖縄小児科学会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 和田山 智哉, 清水 幹人, 木村 一皓, 馬場 孝輔, 別宮 豪一, 奥野 龍禎, 長野 清一, 森田 諒, 中河 秀憲, 白野 倫徳, 後藤 哲志, 野呂瀬 一美, 彦坂 健児, 村山 繁雄, 望月 秀樹
2. 発表標題 トキソプラズマ脳炎を合併した中枢神経浸潤Erdheim-Chester病の1例
3. 学会等名 第117回日本神経学会近畿地方会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 カウエ サイモン、バログン エマニュエル、野呂瀬 一美、アデク マイケル、彦坂 健児
2. 発表標題 ナイジェリアの家畜より分離した捻転胃虫の遺伝的多様性解析
3. 学会等名 第90回日本寄生虫学会 第32回日本臨床寄生虫学会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Shinjo N, Hikosaka K, Yoshida H, Norose K
2. 発表標題 Traditional Kampo formula (漢方) Scutellaria-Coptis (瀉心湯) is protective against Toxoplasma infection via synergistic immunomodulation.
3. 学会等名 第84回日本インターフェロン・サイトカイン学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Hikosaka K, Feng X, Koyama Y, Norose K.
2. 発表標題 PCR targeting the cytochrome c oxidase subunit 1 gene for clinical diagnosis of toxoplasmosis.
3. 学会等名 4th Africa international biotechnology and biomedical conference, AIBBC (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 太田 貴徳, 楠元 大岳, 上野稔幸、上原康文、杉尾 康浩, 田宮 貞史、 彦坂 健児, 野呂瀬 一美, 大野 裕樹
2. 発表標題 臍帯血移植後に多発性脳出血を来したトキソプラズマ関連中枢神経系血管炎
3. 学会等名 第42回造血細胞移植学会総会
4. 発表年 2020年

〔図書〕 計3件

1. 著者名 野呂瀬 一美	4. 発行年 2021年
2. 出版社 日本臨牀社	5. 総ページ数 388
3. 書名 領域別症候群シリーズ No. 20 呼吸器症候群 (第3版) IV	

1. 著者名 吉田朝秀	4. 発行年 2021年
2. 出版社 医学書院	5. 総ページ数 656
3. 書名 小児科レジデントマニュアル第4版	

1. 著者名 野呂瀬 一美	4. 発行年 2020年
2. 出版社 医学書院	5. 総ページ数 2079
3. 書名 今日の診断指針	

〔産業財産権〕

〔その他〕

<p>千葉大学大学院医学研究院中核研究部門 生命機能治療学研究講座 感染生体防御学 https://www.m.chiba-u.jp/dept/infection-hostdefense/ 信州大学医学部医学科寄生虫感染症学 https://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/medicine/departement/medical_science/course/course37.php</p>
--

6. 研究組織			
	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究 分 担 者	彦坂 健児 (Hikosaka Kenji) (30456933)	千葉大学・大学院医学研究院・准教授 (12501)	

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	新庄 記子 (Shinjyo Noriko) (60794039)	大阪大学・免疫学フロンティア研究センター・特任研究員 (常勤) (14401)	
研究分担者	関根 章博 (Sekine Akihiro) (30425631)	千葉大学・大学院医学研究院・特任教授 (12501)	
研究分担者	猪狩 英俊 (Igarai Hidetoshi) (50312947)	千葉大学・医学部附属病院・教授 (12501)	
研究分担者	照屋 勝治 (Teruya Katsuji) (50505386)	国立研究開発法人国立国際医療研究センター・その他部局 等・病棟医長 (82610)	
研究分担者	吉田 朝秀 (Yoshida Tomohide) (20363682)	琉球大学・病院・准教授 (18001)	
研究分担者	前田 卓哉 (Maeda Takuya) (20383763)	埼玉医科大学・医学部・教授 (32409)	
研究分担者	中村 ふくみ (Nakamura Fukumi) (90295204)	東京都立墨東病院（臨床研究支援室臨床研究部）・感染症 科・部長 (82817)	
研究分担者	坂本 寛和 (Sakamoto Hirokazu) (40724349)	千葉大学・大学院医学研究院・特任助教 (12501)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------